

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年09月01日

計画の名称	且過地区の安全安心とにぎわいのあるまちづくり												
計画の期間	令和02年度～令和06年度(5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	北九州市												
計画の目標	<p>且過地区は、北九州市の小倉都心部に位置しており、中でも且過市場は重要な商業核の一つとなっている。</p> <p>しかしながら、隣接する二級河川神嶽川の流下能力不足に伴う浸水被害や、木造建築物の密集や老朽化など、防災面で多くの課題を抱えている。</p> <p>このため、河川改修と一体となって、密集市街地の解消と公共施設の整備改善のため、土地区画整理整理事業を実施するもの。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,347	A	3,347	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

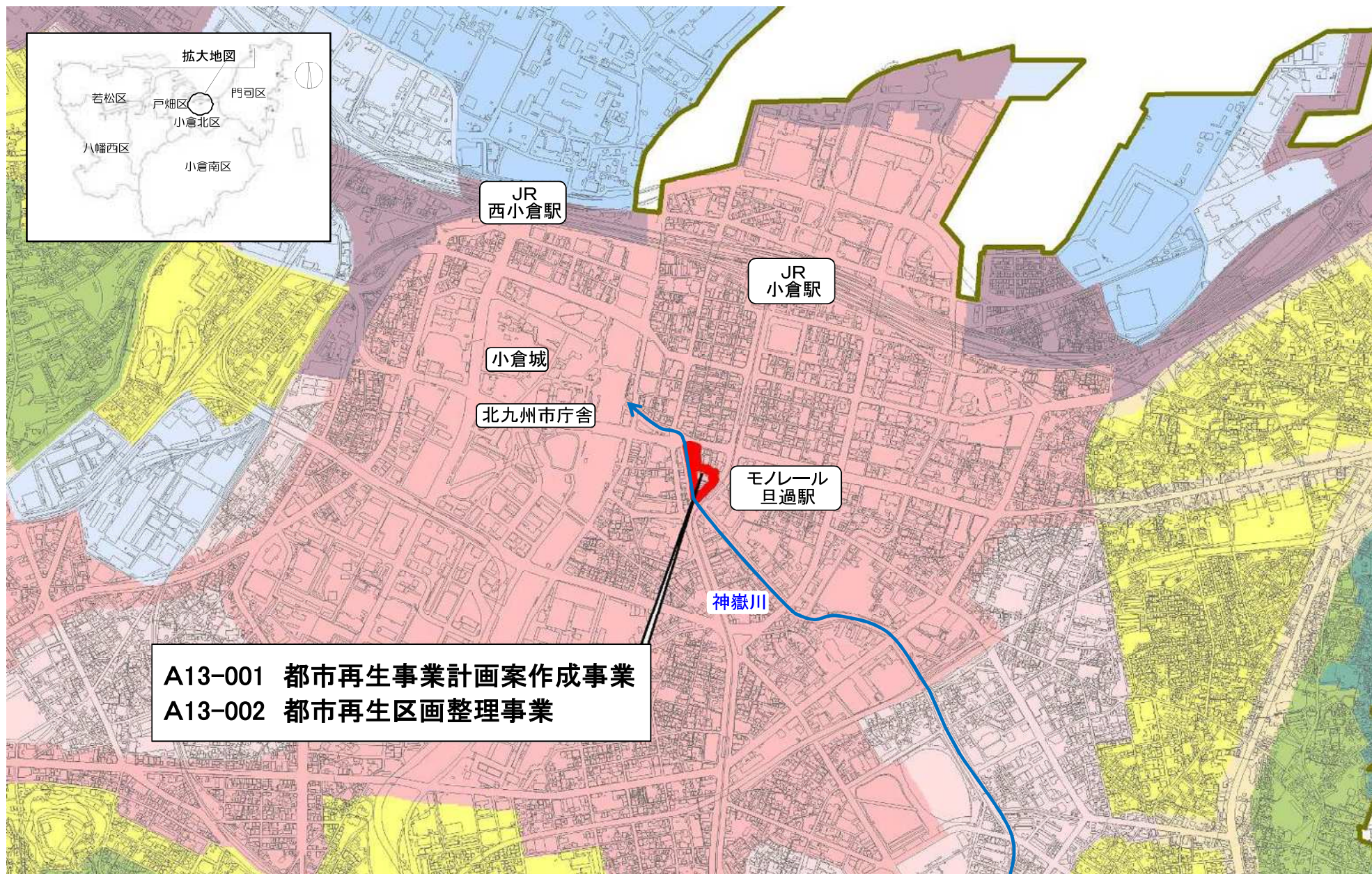
計画の成果目標(定量的指標)				
番号	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和2年度		令和6年度
1	北九州市地域防災計画に位置付けられている、本事業区域内における特定消防区域(火災危険度の高い区域)を解消する。 北九州市地域防災計画における特定消防区域で、小倉北区魚町地区2-1のうち、魚町四丁目1・2・4・5番の指定面積(2番は事業区域のみ) 当初現況値は、令和元年末時点で同区域に位置付けられている事業区域内の宅地面積	5538㎡	㎡	2731㎡

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																	
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	北九州市	直接	北九州市	—	—	都市再生事業計画案作成 事業（旦過地区）	事業計画案作成にかかる調査 、設計	北九州市	■					120		—
	A13-002	市街地	一般	北九州市	直接	北九州市	—	—	都市再生土地区画整理事 業（旦過地区）	地区面積 0.6ha	北九州市		■	■	■	■	3,227	2.32	—
										小計						3,347			
											合計						3,347		

参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	且過地区の安全安心とにぎわいのあるまちづくり	
計画の期間	R 2年度 ~ R 6年度 (5年間)	交付対象 北九州市



交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03			
配分額 (a)	60	210			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	60	210			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	29	33			
翌年度繰越額 (f)	31	177			
うち未契約繰越額(g)	9	90			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	15	42.85			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	地元協議等に不測の日数を要したため	新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言により地元協議が出来ず、不測の日数を要したため			

事前評価チェックシート

計画の名称： 且過地区の安全安心とにぎわいのあるまちづくり

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

事前評価		チェック欄
III. 計画の実現可能性		
⑥円滑な事業執行の環境	2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○
III. 計画の実現可能性		
⑥円滑な事業執行の環境	3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○